



- ・日本福祉人財開発協会welsemiの活動を抜粋して紹介しています
- ・お役立ち情報を掲載しています

今月の研修紹介



人は、計画したことの
7割は、実行しない
9割は、継続しない

<実行のコツ>

- ・明確な期限がある
- ・自分の願いであること
- ・誰かと約束している



1月のF社様の管理者研修は「人が育ち定着する3つの確認ポイント」というテーマで開催しました。女優の石原さとみさんや大谷翔平さんは明確な目標と期限、そのためにすべきことを決め、実際に達成できたこと、夢が実現したことを例として、自己決定力とは、「幸福感を決定する要因として、健康や人間関係に加えて、所得や学歴よりも、自己決定が強い影響を与えている」ということを学びました。

人は、計画したことの7割は実行しない、9割は継続しないと言われていますが、わくわくすると自ら動くとも言われています。わくわく動くために、自分で、目的や目標、ビジョンを決めることが大切です。

また、組織で働く人たちの承認欲求を見出すことも大切です。そのためにコーチングスキルも必要になってきますが、コーチング研修は別の機会にさせていただきました。

今回も、当協会の高木さと子理事が講師を務め、デイサービス部門の管理者のみなさんに明るく研修をさせていただくことができました。

当協会では、①経営者様との打ち合わせ、②幹部・管理者研修の後に③一般研修を行っております。この順番が大切です。

今月の相談事例

今月は、老人ホームの一括借り上げ物件がないかという問い合わせを頂きました。元々、当協会では、地主様が建築し、福祉事業者に一括で貸すレントシステムを提案しており、物件が出るたびに、登録していただいている事業者様に情報を投げかけています。

しかし、昨今の建築費高騰により、地主様が従来のような利回りを得ることが難しくなってきました。言い換えれば、事業者から見ると家賃が高くなるという事態になっています。

最近では、障がい者グループホーム（共同生活援助事業所）の建設問い合わせも多いのですが、同じことが言えます。事業者側が従来よりも高い家賃を大家さん払うことができるスキームを考える必要が出てきました。

しかしながら当協会では過去3年で10件以上の建築推進（マッチング）を成功させています。いつでも無料相談を受け付けていますので、お気軽にお申込み／8お問合せ下さい。



<https://welsemi.com/muryousoudan>

処遇改善 生産性向上 補正予算

令和7年度の処遇改善加算では、生産性向上項目の取り組みの必要性が求められています。補正予算での補助金にもこのような取り組みがマストになると言われています。

では、具体的には何をすればいいのでしょうか？

調べている人も多いと思いますが、

ICT化・DX化・ペーパーレス化・委員会発足・5Sなどなど、聞いたことあるような言葉が飛び交うと覆います。



生産性向上は昔から製造業が盛んに行っていた現場改善手法の一つです。5Sや3M（ムリ・ムダ・ムラ）なども言葉も製造業が発端だったと記憶しています。今後、福祉業界にもこのような手法が取り入れられ、職場環境の改善を行ったりしないと福祉からの離職が進んでしまうかもしれません。これを機に、自社の改善を行うきっかけにしてほしいと思います。

3M 

ムリ ムダ ムラ

詳細についてはいつでも協会までお問合せ下さい。

Youtube始まる

日本福祉人財開発協会のyoutubeがいよいよスタートします。福祉事業者様へ様々なお役立ち情報をお届けする予定で、先日初撮影が行われました。理事3人が集まり、笑いあり、まじめありで撮影が進みました。近々配信予定ですので、ご期待ください。



日本福祉人財開発協会

日本福祉人財開発協会支援メニュー

楽々研修パック

法定研修や訓練、委員会を協会講師主導で行います。月に1回、約45分の内容で、Zoomや現地研修により、リアルタイムで実施します。人間スキル向上、職場風土の改善などを目的にしたセミナーも年間計画に入れることも可能です。

各種相談対応

福祉事業を行っている時、以下のような様々なお困りごとが経営者様や管理者様に襲い掛かってきます。当協会では、無料相談から始まり、事業者様の全てのお困りごとに対応できるサービスを提案しております。

お問合せ・お申込みはこちらまで 

